ある町の天気相談所

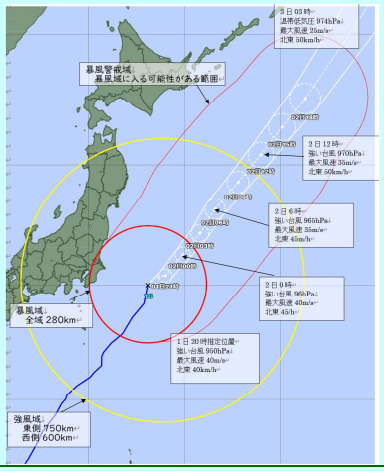
Vol.47
2021.11. 5

令和３年１１月号

台風第16号

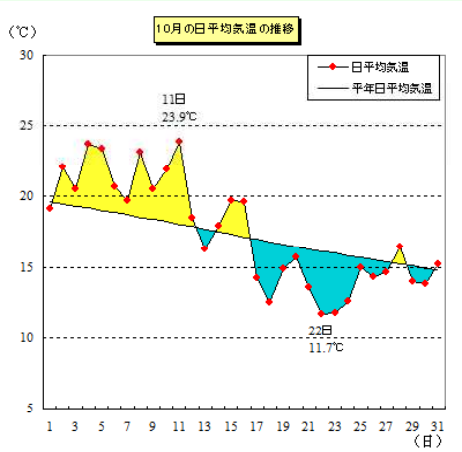
9月下旬にマリアナ諸島付近で発生した台風16号は、10月1日に関東の南東海上を北東へ進みました。上陸はしませんでしたが、風の範囲が広く暴風域が一部茨城県にかかることもありました。

市役所における記録
最大風速　北の風12・1メートル
最大瞬間　北の風24・2メートル
総降水量　42ミリ



10月の気候

10月の気温は、上旬はかなり高く、中旬は平年並み、下旬は低く推移し、月平均気温は17・4℃と平年並みとなりました。最高気温が25℃以上の夏日が8日と、月の前半に多くなり、10月として多い記録2位となりました。雨の日数は多くなりましたが、月合計降水量は149ミリと平年の83％でした。月合計の日照時間は180・1時間と、平年より多くなりました。



1カ月予報（気象庁発表）

11月は、はじめ湿った空気の影響を受けやすく、その後は平年同様に晴れの日が多い予想です。気温は「平年並み」、降水量、及び日照時間は「ほぼ平年並み」の見込みです。

最近の天気相談所

出前講座や見学会など、多くの人が集まる行事は、天気相談所においても、しばらく中止していました。先月、「オンラインによる講座ができないか」との相談があり、天気相談所としてははじめて、オンラインによる講座を実施しました。

今までも、受講する立場においては、何度かウエブ会議システムを使った会議に参加したことはありますが、主催者側としての参加ははじめてで、映像や音声の調整、資料の共有など、事前に練習をしたり、本番の会場とつないで、予行演習を行ったりと、準備を重ねて、本番は無事に行うことが出来ました。

実際に行ってみると、受講者の様子がわからないため、対面で行うときと勝手が違い、戸惑うところもありました。今後も機会があるかと思いますので、この経験を活かしていきたいと思います。

感染状況にもよりますが、11月には、対面での出前講座の予定もあります。出前講座の要望がありましたら、御相談ください。

天気用語の基礎知識

大雨注意報２

大雨注意報「浸水害」の発表には、「表面雨量指数」というものが利用されている。雨水がどれほど地表にたまっているかを、都市部やそれ以外の地域にわけて、計算されている。表面雨量指数は1km四方のメッシュで公開され、注意報の基準を超えたメッシュについては、気象庁ホームページの「大雨警報（浸水害）の危険度分布」などで、確認することができる。

神峰の山から

毎月この「ある町の天気相談所」は、第一金曜日の発行を目指しています。連休がある5月や1月においては、第2金曜日になってしまうこともありますが、先月の10月号は、第2金曜日になってしまいました。理由としては、先月（9月）の気候のまとめが、台風第16号への対応のために、遅れてしまったことにあります。毎月1日は、前の月の観測データが揃うので、データのとりまとめを行います。発行が1日でなければ、遅れても影響はないのですが、10月は、1日に台風と気候のまとめとが重なってしまいました。

来年は4月と7月の2回、第一金曜日と1日が重なります。今度は遅れないように頑張ります。